

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ①信濃川の大規模水害における特徴を踏まえた避難に関する取り組み	資料 5
内容	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善及び流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知の検討	
実施主体	新潟地方気象台	

- ▶ 「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度」も確認できるよう、本川流路の周辺にハッチをかけて危険度を表示するように改善。
- ▶ 現行では表示されていない内水氾濫の危険度を本川（信濃川）にハッチ表示し、注意警戒を喚起。

改善案（イメージ）

内水氾濫の危険度を河川流路周辺にハッチで表示

ハッチ表示はON/OFFできるようなボタンを追加（デフォルトOFF）

湛水型の内水氾濫

河川の水位が高くなり、周囲の水が河川に排水できない。河川沿いや合流点付近で発生。

- 指定河川洪水予報
- 水位情報（川の防災情報）

指定河川洪水予報
（国や都道府県が管理する河川のうち、流域面積が大きく、洪水により大きな損害を生ずる河川について、洪水のおそれがあると認められるときに発表。）

洪水警報の危険度分布

- 高 氾濫発生情報【警戒レベル5相当】
- 高 氾濫危険情報【警戒レベル4相当】
- 中 氾濫警戒情報【警戒レベル3相当】
- 低 氾濫注意情報【警戒レベル2相当】
- 発表なし

洪水警報の危険度分布

- 高 極めて危険
- 中 非常に危険【警戒レベル4相当】
- 低 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】
- 今後の情報等に留意

【本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度】
河川の増水によって周辺の支川・下水道からの排水ができなくなることで発生する内水氾濫による水害被害のおそれがあると認められるときに発表。

- 警戒【警戒レベル3相当】
- 注意【警戒レベル2相当】

ボタンON時に凡例を表示

改修スケジュール

第1段階（令和2年度）
5/28 改修済
大河川の表示改善
信濃川など

↓

第2段階
（令和3年度以降）
中小河川の表示改善
浄土川、太田川など

カテゴリ	2. ソフト対策の主な取組 ①信濃川の大規模水害における特徴を踏まえた避難に関する取り組み
内容	気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善及び流域雨量指数（洪水予報の危険度分布）を活用した水害危険性周知の検討
実施主体	新潟地方気象台

- ▶ 長岡市など関係機関に**浄土川対応のプッシュメールを配信、災害への気づきを促進。**

「流域雨量指数監視メール」イメージ

Sub: 浄土川対応流域雨量指数監視メール

気象庁予報部予報課
2020年〇月〇日〇時〇分

例文1
○信濃川水系の信濃川（大手大橋）で6時間先の予想値が浄土川対応の基準Ⅱ（警報）に到達しました。

例文2
○信濃川水系の信濃川（大手大橋）で解析値が浄土川対応の基準Ⅱ（警報）に到達しました。

詳しくは、[防災情報提供システム](#)も参照してください。

流域雨量指数監視メール

- メール送信基準
 - 信濃川長岡水位観測所ポイント（信濃川大手大橋）の流域雨量指数の予測値または実況値で判定する。浄土川対応の基準Ⅰ（注意報基準）、基準Ⅱ（警報基準）を予測、実況で初めて超過した際に、メールを送信する。
 - 頻繁なメール送信を避けるため、ある基準を超過した後6時間以内に予測値または実況値で同じ基準に到達した場合はメール送信はしない（上位の基準に到達した場合はメール送信する）。
- 送信先 長岡市危機管理防災本部、河川港湾課
長岡地域整備部治水課 新潟県河川管理課
R02年6月10日 運用開始済

- ▶ 浄土川対応の基準に達すると予想される場合、長岡市へホットラインを実施。

気象台からのホットライン（能動的ホットライン）
担当者ホットライン
・防災管理官、広域防災管理官又は気象防災情報調整官から、県及び対象市町村の**防災部署管理職等に対し電話で危機感を伝えるもの。**

